

講座「生きること」開催記録 1978年度～1987年度

開催年度	講師	テーマ
1978	高 史明 (作家)	人にやさしい ～「生きることの意味」をとおして～
	関 広延 (高校教師)	おのれを見つめる～沖縄にいて視えてくるのは 日本ことである～
	金 時鐘 (詩人・高校教師)	私と出会った人々
	三好 康子 (止揚学園保母) 松井 泰子 (止揚学園保母)	子どものためにではなく・ともに ～障害児とともに生きて～
	野本 三吉 (横浜市立寿生活館職員)	教育の原型をもとめて ～寄せ場の相互教育～
1979	森滝 市郎 (被団協理事長・ 広島大学名誉教授)	人類は生きねばならない ～私の被爆体験から～
	田島 征三 (絵本作家)	生命(いのち)と向きあうとき ～僕と絵本と現世と～
	大川 恵美子 (部落解放同盟 大阪府連元婦人部長)	まちがいもいっぱいあるわけやね 金もったら差別は ないんや、おもとった～差別のなかを生きぬいて～
	丸山友岐子 (評論家)	女の自由 ～我が愛と生の履歴書～
	水上 勉 (作家)	人間と風土
1980	金 賛汀 (ルポライター)	“壁”とよばれた少年 ～ある いじめられっ子の自殺～
	小林 初枝 (高校司書)	なぜ差別はなくなるか ～被差別部落に生まれ育ち、そして差別とたたかって～
	真尾 悦子 (作家)	「ありのままの人生」 ～貧乏も病気もいっそそれらと友達づきあいをして～
	齋藤 茂男 (共同通信記者)	事実が私を鍛える ～現代を取材しながら考えること～
	さねとう あきら(児童文学者)	子どもが子どもらしさをとりもどす時 ～わたしの児童文学が目指すもの～
1981	田島 征三 (絵本作家) 田島 征彦 (絵本作家)	ぼくたちの絵の世界 ～土と生命の交感を描いて～
	阪本ニシ子 (部落解放堺地区歴 史文化を守る会会員)	みんな手をつないでほしいねん ～差別の中を生きぬいて～
	宗 秋月 (詩人)	我が町猪飼野を語る
	井上 光貞 (小説家)	露天市場から小説は始まる
	山内 徳信 (読谷村村長)	基地の中における文化村づくり ～沖縄・読谷村の自治の戦い～
1982	上江州 トシ (沖縄・生活と権利 を守る婦人協議会会長)	いなやぐや平和のさちばい (女) (先がけ)
	栗原 貞子 (詩人)	核時代に生きる ～ヒロシマ体験をとおして、今、私たちは～
	朴 壽南 (作家)	もうひとつのヒロシマ、もうひとつの日本 ～朝鮮人被爆者の体験から～
	水木しげる (漫画家)	戦争のはなし
	斎藤 次郎 (子供調査研究所)	地球は、子どもの遊び場

開催年度	講師	テーマ
1983	佐江 衆一 (作家)	ヒトはやむなく路上に眠る ～寿町浮浪者襲撃事件を見すえて～
	神田 三亀男 (日本農業新聞・広島版編集者)	原爆と村の女たち ～聞き書きにこめた思い～
	松下 竜一 (作家)	やさしさということ ～豊前火電建設阻止の闘いの中で～
	徳村 彰 (ひまわり文庫主宰)	激動の中でこそ子どもは育つ ～横浜ひまわり文庫の十一年～
	山谷 哲夫 (映画監督)	なぜ、いま「買春」なのか ～映画を作る根っこにあるもの～
1984	辛 基秀 (映画プロデューサー)	在日朝鮮人、もうひとつの歴史 ～発掘された真実～
	伊藤 ルイ (博多人形彩色職人)	反戦の日々を生きる ～自然と生への渴仰を胸に～
	寺本 知 (詩人)	熱と光を求めて ～わたくしの出会った人たち～
	保坂 展人 (学校解放新聞社代表)	先生、涙をください ～いこうぜ！学校地獄からの脱出～
	鎌田 慧 (ルポライター)	工場と学校の現場から ～進む管理強化と人間荒廃～
1985	石元シゲ子 (「いのちの底が抜けたア」の著者)	いのちの底が抜けたア
	藤井 誠二 (「オイこら！学校」の編者)	オイこら！学校
	西岡 務 (全国障害者解放運動連絡会事務局長)	障害者としてあたりまえに生きたい！
	山尾 三省 (詩人)	人間の故郷性を求めて
	藪木 禾積 (愚公時習社理事) 松田 智江子 (元四川外国語大学教師)	涙の対面以後の帰国者の生活と ～戦後四〇年中国と日本のはざままで～
1986	川崎 彰彦 (作家)	ものぐさ人生
	鈴木 みち子 (フリージャーナリスト)	校則にみる人の 「生」と「性」
	佐伯 敏子 (ヒロシマの語り部)	ヒロシマに歳はないんよ
	奥地 圭子 (登校拒否親の会代表・元小学校教師)	学校信仰を越えて ～今、人間としての学びを～
	田中 美津 (子どもと女のからだ育て「レラハルセ」主宰)	傲慢は美德の物語 ～誤解されっぱなしのウーマンリブ～
1987	金 洪仙 (前高槻市公立学校における朝鮮人子供会指導員) 鈴木 常勝 (元中国留学生)	アジアをつなぐ家族
	浅野 健一 (記者)	犯罪報道のあり方を問う
	東淵 修 (詩人)	カンカン(熱中)人生や
	小栗 康平 (映画監督)	映画をとおして
	前川 むー (「好きです人間展」事務局員)	途切れがちな対話をつなぐために